

News Release

2020年11月19日
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

2020年度 上期の電気機器の状況

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA、会長:浜崎 祐司)では、2020年度 上期の電気機器の状況を纏めましたので、以下の通りご報告致します。

1. 概要

2020年度上期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症により、大幅に落ち込みました。国際通貨基金(IMF)経済見通し(10月発表)では、世界経済の2020年の成長率はマイナス4.4%になると予想しています。

わが国も、4月6日に緊急事態宣言が発せられ、5月25日に宣言が解除されました。この期間は、外出自粛など社会的な距離を保つ必要があり、世界経済と同様に経済活動は停滞しました。解除後は、徐々に経済活動を再開しましたが、今後の経済見通しが不透明なことから、設備投資を先送りするなど、企業は慎重な姿勢を見せています。

このような中、重電機器、白物家電機器を合わせた電気機器の2020年度上期生産実績は、2兆4,043億円、前年同期比 89.5%となりました。

重電機器の国内生産は、発電用原動機、回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器の全てで前年同期を下回り、重電機器合計では1兆4,127億円、前年同期比87.2%と前年同期を下回りました。

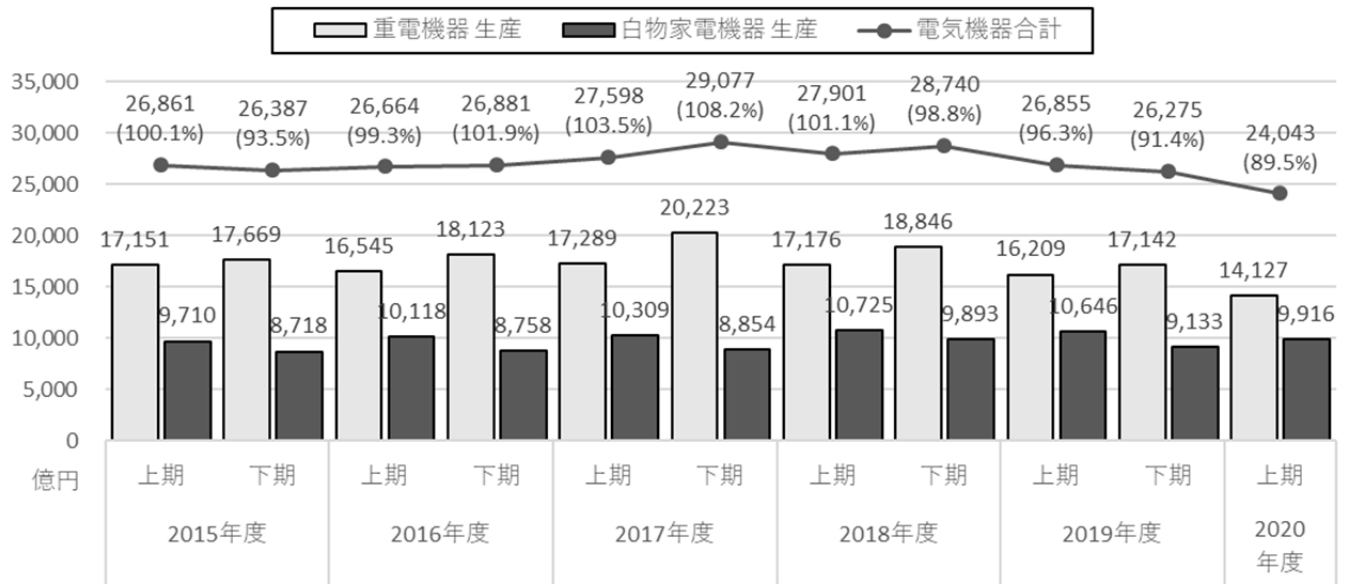
白物家電機器の国内生産は、生産金額の大きい、ルームエアコン、電気冷蔵庫が前年同期を下回り、上期合計は、9,916億円、前年同期比93.1%と前年同期を下回りました。

一方、国内出荷は、1兆3,696億円、前年同期比99.2%と微減となりました。

【表1】2020年度 上期の電気機器の状況

	2020年度 上期実績	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
重電機器 国内生産	14,127	87.2
白物家電機器 国内生産	9,916	93.1
電気機器 国内生産 合計	24,043	89.5
白物家電機器 国内出荷	13,696	99.2

備考: 1: 国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。
2: 白物家電機器国内出荷は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による。
3: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合があります。



備考: ()は前年同期比
出所: 経済産業省 生産動態統計

【図1】電気機器の半期別国内生産額推移

2. 重電機器分野

2.1 国内生産の状況

(1) 上期国内生産実績の概要

上期の重電機器合計は、1兆4,127億円、前年同期比87.2%と前年同期を下回りました。電力分野向け機器は、電力供給インフラ(発電・送配電)の更新による設備投資は存在するものの、景気の先行きが不透明なところがあり、設備投資が抑制されています。

製造業向けの産業用汎用機器は、国内製造業の設備投資抑制を受けて、低調な動きとなっています。

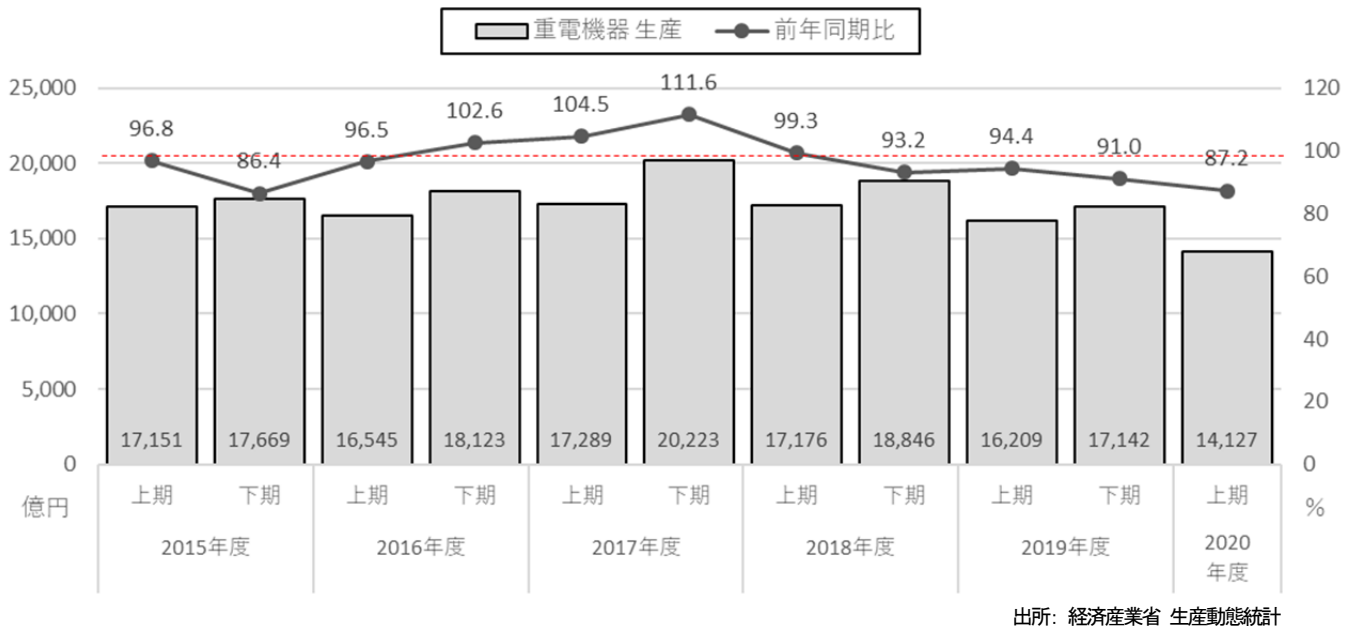
機種別の生産を見てみると、ほとんどの機器で前年同期を下回りました。

【表2】重電機器の2020年度 上期国内生産実績

品 目	区 分	2020年度 上期実績	
		金額 (億円)	前年同期比 (%)
重電機器合計 (1+2+3+4)		14,127	87.2
1. 発電用原動機計		1,461	81.3
ボ イ ラ		515	72.2
蒸気タービン		280	144.5
ガスタービン		666	74.8
2. 回転電気機械計		3,839	85.4
直 流 機		13	82.7
交流発電機		401	95.8
交流電動機		1,259	87.5
サーボモータ		398	95.0
小形電動機 (70W未満)		1,447	80.2
電動機一体機器		321	80.7
3. 静止電気機械器具計		2,800	86.8
変 圧 器		1,065	94.1
電力変換装置		1,378	81.6
うち無停電電源装置		(208)	(93.0)
うち汎用インバータ		(243)	(83.8)
うちサーボアンプ		(411)	(72.8)
その他		356	88.1
4. 開閉制御装置・開閉機器計		6,026	90.1
開閉制御装置		2,933	91.4
密閉形ガス絶縁開閉装置		308	92.4
閉鎖形配電装置		932	94.4
分 電 盤		474	91.5
監視制御装置		857	85.3
その他の開閉制御装置		362	99.4
開閉機器		3,094	88.8
保護継電器		93	101.6
低圧開閉器・制御機器		2,122	88.7
うちプログラマブルコントローラ		(455)	(87.3)
高圧開閉器		140	103.7
低圧遮断器		422	86.2
高圧遮断器		137	82.4
電磁クラッチ		180	86.2

備考: 1: 国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



【図2】重電機器の半期別国内生産額推移

(2) 下期の国内生産動向

電力・エネルギー分野は、国の施策とも密接に関係しています。2020年4月には、電力会社の発送電分離が始まり、強靱かつ持続可能な電気の供給体制を確立するため、「エネルギー供給強靱化法」が2020年6月に国会で成立しました。わが国のエネルギー政策の方向性を決める「第6次エネルギー基本計画」は、先月から議論が開始されました。

重電機器の中で発電所向けの機器は、このような背景の中で影響を受けるものと推測されます。また、新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化もしばらく続くものと見込まれ、設備投資の回復はしばらく時間が掛かると見通しています。

従いまして、重電機器全体の下期生産は、今後も不透明な状況が続くため、前年同期を下回ると見通しております。

[参考] 重電機器の2020年度 上期国内生産実績(生産分類別)

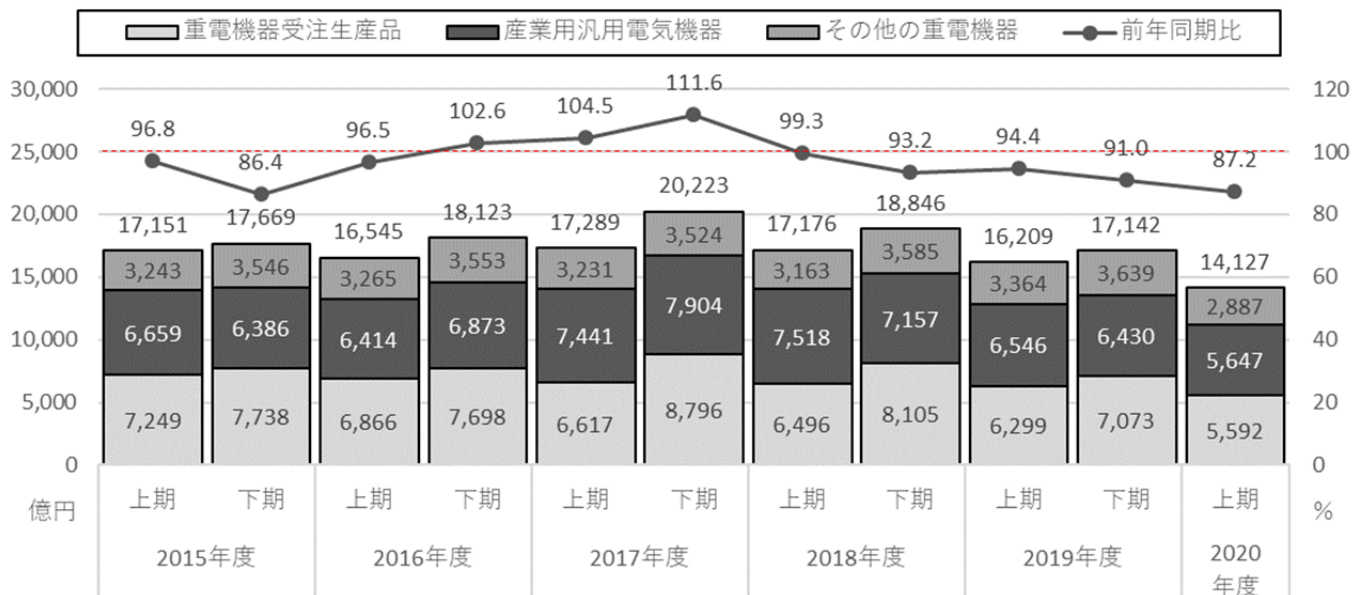
経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMA が受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました。

【表3】重電機器の2020年度 上期国内生産実績(生産分類別)

	2020年度 上期実績	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
受注生産品*1	5,592	88.8
発電用原動機	1,461	81.3
電力・一般産業用機器	4,131	91.8
産業用汎用電気機器*2	5,647	86.3
その他の重電機器*3	2,887	85.8
重電機器合計	14,127	87.2

- *1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等。
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備。
- *2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等。
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品。流通は代理店経由が多い。
- *3 その他の重電機器: 機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器。

備考 1: 国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。
2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図3】重電機器の半期別国内生産額推移(生産分類別)

3. 白物家電機器分野

3.1 国内出荷の状況

(1) 上期国内出荷実績の概要

上期の白物家電機器合計の国内出荷額は、1兆3,696億円、前年同期比99.2%となり、微減となりました。4～5月については新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、販売店の休業や営業時間短縮、外出自粛等による影響、8～9月については2019年10月の消費税増税前の駆け込み需要により前年の出荷額が高かったことから前年を下回りましたが、在宅時間の増加や特別定額給付金支給の後押しもあり、過去10カ年度で最も高い出荷金額だった昨年度上期に次ぐ水準となりました。

製品別で見ると、ルームエアコンは梅雨明けからの猛暑と在宅時間の増加等もあり、上期としてデータが確認出来る1972年度上期以降で過去最高の出荷数量となりました。電気洗濯機はまとめ洗い・大物洗いに対する消費者ニーズにより8.0kg以上の大型クラスが人気で、中でも高付加価値製品であるドラム式洗濯乾燥機が好調でした。

また、家庭での食事機会が増えたことにより調理家電が高水準で推移し、中でもホットプレート、トースター等が大幅増となりました。在宅時間の増加による室内環境の向上と消費者の健康・清潔意識の高まりから、空気清浄機も好調に推移しました。

一方で電気冷蔵庫は、容量別構成は小容量クラス(140L以下)が減少し、大容量クラス(401L以上)も微減となりましたが、中容量クラス(141～400L)が伸長しています。中・大容量クラスを中心に、省エネや省スペース化が進み、一般世帯での大容量化が進むのと同時に、少人数・高齢化世帯においても同クラスへのシフトの動きが見られます。

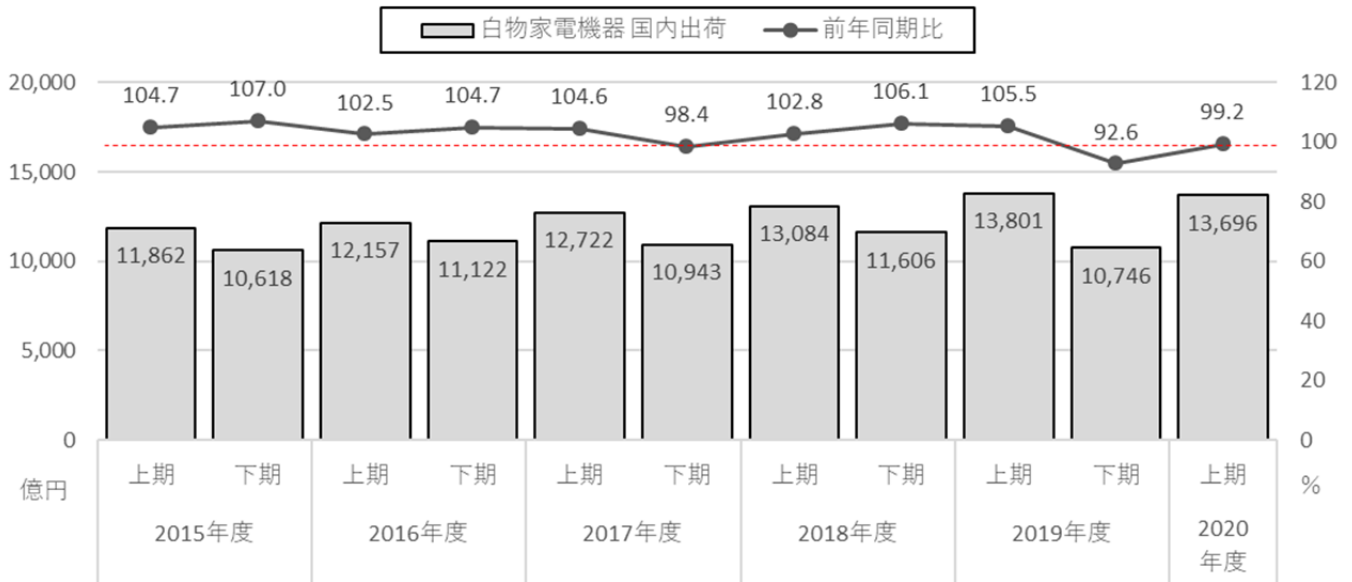
【表4】白物家電機器の2020年度上期国内出荷実績

	2020年度 上期実績	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	5,137	99.7
電気冷蔵庫	2,474	96.3
電気洗濯機	1,955	98.2
うち洗濯乾燥機(ドラム式)	(741)	(101.9)
電気掃除機	461	100.2
空気清浄機	270	166.9
ジャー炊飯器*	493	90.3
トースター	65	121.7
ホットプレート	56	152.7
その他(上記8品目以外)	2,786	98.4
白物家電機器合計	13,696	99.2

*ジャー炊飯器:保温機能(ジャー)がついた電気炊飯器。

備考 1:国内出荷は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



出所: 日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

【図4】白物家電機器の半期別国内出荷額推移

(2) 下期の国内出荷動向

下期においては、「健康・清潔」意識の高まりや「巣ごもり」に関する家電製品への需要は続くと考えられるとともに、昨年度下期が、消費税増税後(2019年10月)の影響で低い水準であったことから、国内出荷は昨年度下期以上になることを期待しております。

3.2 国内生産の状況

(1) 上期国内生産実績の概要

上期の白物家電機器合計の生産額は9,916億円、前年同期比93.1%となり前年同期を下回りました。

製品別で見ると、主要製品では電気洗濯機、電気掃除機が前年同期を上回りましたが、ルームエアコン、電気冷蔵庫、電気がまは、前年同期を下回りました。

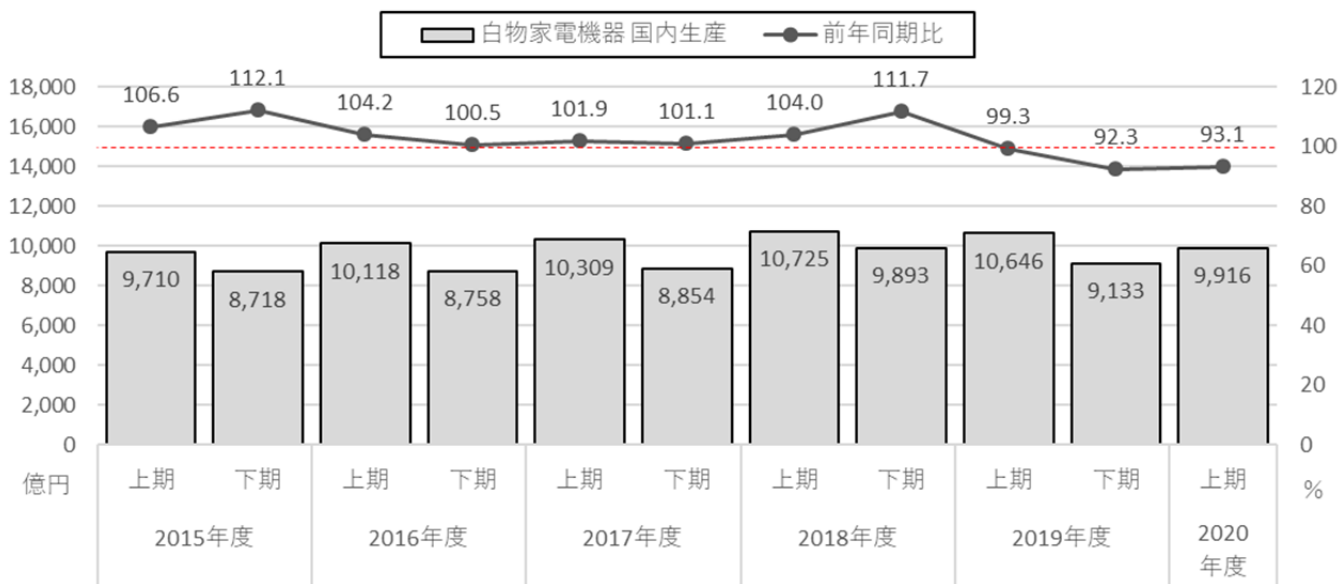
【表5】白物家電機器の2020年度上期国内生産実績

	2020年度 上期実績	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	3,389	97.8
電気冷蔵庫	1,174	91.5
電気洗濯機	399	100.4
電気掃除機	168	111.9
電気がま*	304	92.4
その他（上記5品目以外）	4,482	89.3
白物家電機器合計	9,916	93.1

*電気がま:ジャー機能(保温機能)のないものも含む。

備考 1::国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2::端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図5】白物家電機器の半期別国内生産額推移

(2)下期の国内生産動向

下期の国内生産は、「3. 1(2)下期の国内出荷動向」で述べました要因により、昨年度下期以上になることを期待しております。

以 上

本資料に関する弊社お問い合わせ先

統計関係 企画部統計課(笹子・高橋・角田・細田)

その他 企画部広報室(中村・守田・石塚)

TEL:03-3556-5882 FAX:03-3556-5892

URL : <https://www.jema-net.or.jp/>